

平成30年度

市政懇談会



海 南 市

目 次

1. 財政概要

平成30年度一般会計当初予算（歳入）	1
平成30年度一般会計当初予算（歳出）	2

2. 主要事業

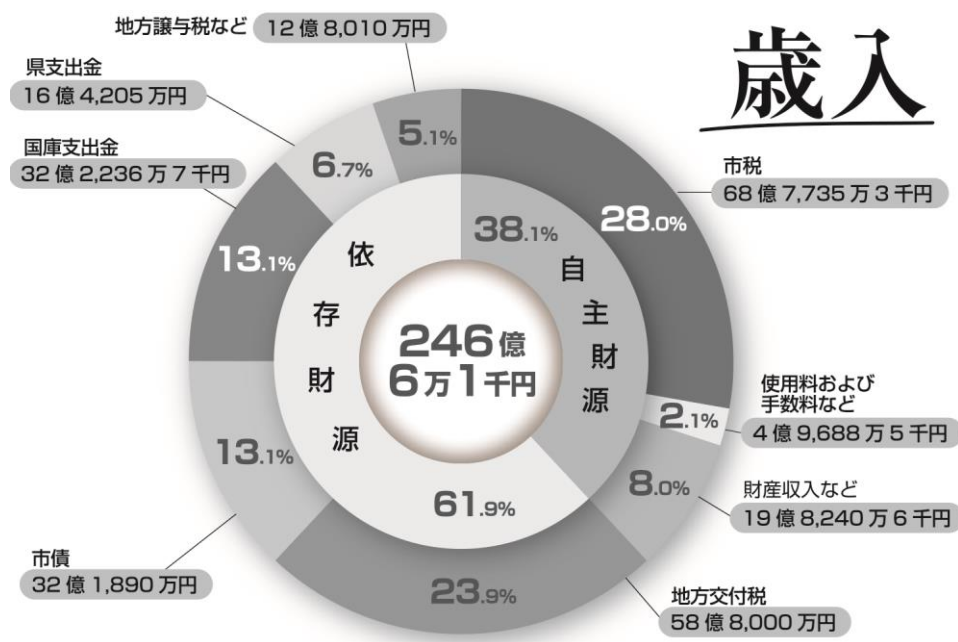
（仮称）市民交流施設建設事業	3～4
（仮称）中央防災公園整備事業	5～6
和歌山下津港海岸（海南地区）津波対策事業	7
みらい子ども園の開園	8
骨髄等提供奨励金の創設	9
行政事業レビュー（事業仕分け）	9
道路の整備	10
第32回全国健康福祉祭和歌山大会 （ねんりんピック紀の国わかやま2019）	10
（冷水地区のみ）冷水地区避難所整備事業	11

3. 参考資料

平成30年度重点事業	12～13
------------	-------

平成30年度 海南市一般会計当初予算

一般会計歳入 246億6万1千円



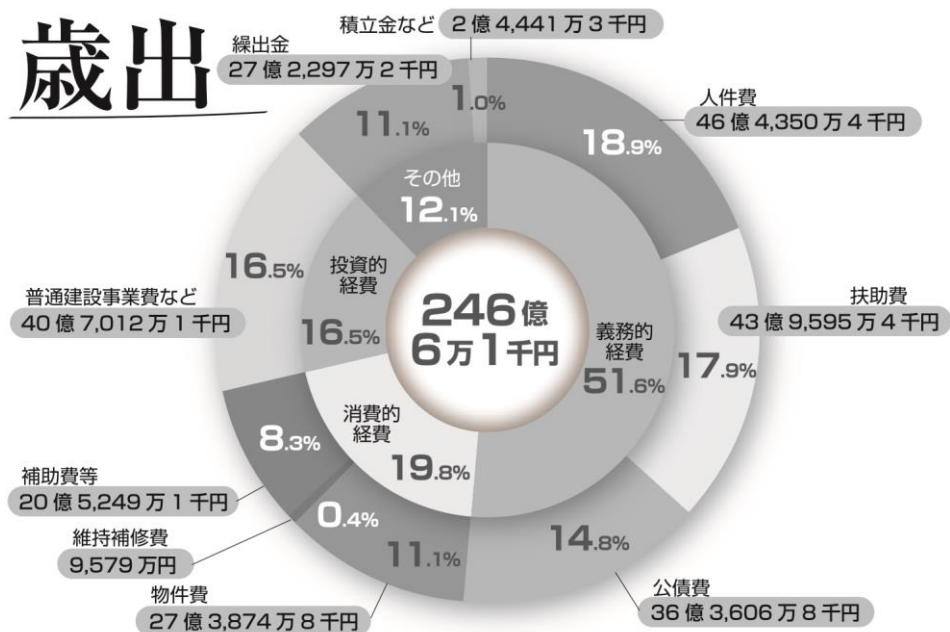
- 自主財源 市が自主的に収入できるもの
- 依存財源 国や県の意思決定に基づき収入されるもの
- 地方交付税 国が一定の基準で交付するお金
- 市債 公共事業などで多額な資金が必要となときの長期借入金
- 国庫支出金 特定の事務事業に対し、国から交付される支出金
- 県支出金 特定の事務事業に対し、県から交付される支出金

●市税の内訳

市民税	27億4,000万円
固定資産税	34億6,283万5千円
軽自動車税	1億6,481万8千円
市たばこ税	2億7,700万円
都市計画税	2億3,270万円

一般会計歳出 246億6万1千円

歳出



- 義務的経費 扶助費など、固定的に支出されているもの
- 消費的経費 物件費など、後に形が残らないもの
- 投資的経費 学校建設など資本形成されるもの



（仮称）市民交流施設整備事業

市役所の旧庁舎跡地を有効に活用し、中心市街地のにぎわいづくりを図るため、図書館機能や広場等を備えた新たな施設を整備します。

また、現在の児童図書館や市民会館を統合することで、施設の最適配置を図ります。

1. 施設の概要

（１）所 在	海南市日方 1525 番地6
（２）構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 3階建
（３）延床面積	7,700 m ² (駐車場含む)
（４）容積対象床面積	5,120 m ²
（５）敷地面積	10,632 m ²
（６）そ の 他	来館者駐車場 100 台・駐輪場 100 台

2. 施設の特徴

本施設は、図書館機能を核として、カフェやラウンジ、子どもから高齢者までが遊び・集える広場など、多様な世代が交流できる複合施設です。

広場部分は緩やかな勾配の丘とし、一部には丘を掘り込んだような形状の遊び場を設け、雨の日でも遊べるように屋根を設置します。

建物の１階はピロティ形式の駐車場、メインフロアの２階には絵本や児童書のコーナーに加え、ホール機能を有した多目的室や、乳幼児用の遊び場・託児所などを設けます。３階は一般書ゾーンとして、静かな環境の中で本を読んだり学習したりするスペースとします。

蔵書冊数は１５０，０００冊を想定し、絵本５０，０００冊、児童書３０，０００冊、一般書７０，０００冊を揃えます。一般書は、小説や実用書、ビジネス書など、親しみやすい図書を中心とし、カフェを利用しながら館内の図書が読めるようにするなど、図書に触れる機会の創出を図ります。

3. 建設事業費（概算）

３，１８０，０００千円

4. 平成 30 年度当初予算額

672,028千円

5. 今後のスケジュール（予定）

【旧庁舎の撤去】

平成 30 年度	撤去工事
----------	------

【新施設建設】

平成 30 年度	実施設計、建設工事
----------	-----------

平成 31 年度	建設工事
----------	------

平成 32 年 4 月	開館
-------------	----

6. （仮称）市民交流施設イメージ



【敷地南東側（海南医療センター西側付近）から見たイメージ】



（仮称）中央防災公園整備事業

1. 事業の概要

わんぱく公園に隣接する大池の一部及び内池を埋め立て、防災とにぎわいづくりの両面から、まちのシンボルとなる都市公園として、中央公園の拡充・再整備を進めます。

2. 公園の特色

大規模災害時は、災害復旧・復興を円滑に進めるための防災関係機関の活動拠点や応急仮設住宅用地として活用できる公園として、平常時は、楽しさや魅力、活力を生み出し、子どもから高齢者まで楽しめる芝生広場や遊具、パークゴルフ場など、わんぱく公園の大幅な機能アップを図ります。

3. 全体事業費

1, 340, 000千円

4. 平成30年度当初予算額

122, 290千円

5. 今後のスケジュール（予定）

【公園用地造成】

平成30～33年度	用地造成工事
-----------	--------

【公園整備】

平成30～32年度	基本計画、基本設計、実施設計
-----------	----------------

平成33・34年度(見込) 公園整備工事

6. (仮称) 中央防災公園整備 計画地概要と造成イメージ

【計画地概要（埋立予定面積）】



【造成イメージ】

(仮称) 中央防災公園 計画地 造成イメージ





和歌山下津港海岸（海南地区）津波対策事業

1. 事業概要

和歌山下津港海岸は、今後 30 年以内に 70%～80%の確率で発生する南海トラフ地震に伴う津波の襲来が予測されています。当海岸の背後地域には、行政・防災中枢機能や主要交通施設に加えて、世界的シェアを誇る高付加価値製品の製造企業群が集積しており、津波襲来時には極めて甚大な被害の発生が危惧されています。

このため、護岸及び防波堤の補強・嵩上げと津波防波堤の設置を組み合わせた施設を整備し、津波浸水被害を軽減します。

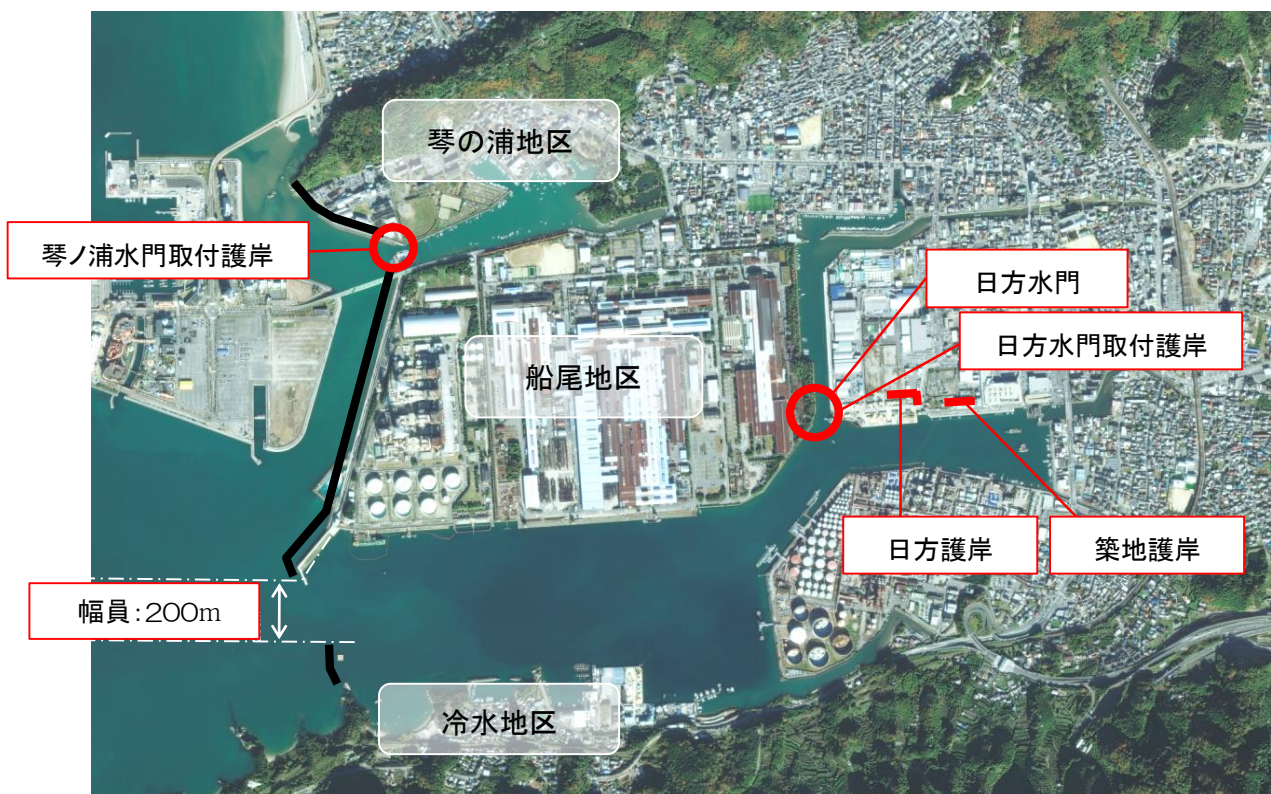
【総事業費及び事業期間】 総事業費：450 億円 事業期間：平成 21～平成 35 年度

【事業内容】 護岸（改良）：6,328m 津波防波堤：554m 水門：6 基

【事業主体】 国土交通省

2. 平成 30 年度の主な事業実施箇所

- ・ 琴ノ浦水門取付護岸の整備（継続）
- ・ 日方水門の整備（継続）
- ・ 日方水門取付護岸の整備（継続）
- ・ 日方護岸の整備
- ・ 築地護岸の整備



みらい子ども園の開園

1. 事業の概要

市内の2幼稚園と2保育所を統合して新たに整備した「みらい子ども園」が、平成30年4月1日に開園しました。

本園では、特にニーズが高まっている低年齢児の保育を重点的に拡充しており、入所定員は0～2歳児で従来より23人の増となっています。

また、「みらい子ども園」は、幼保連携型の認定こども園であり、多様化する教育・保育ニーズへの対応や、集団活動の機会の提供をはかるとともに、病後児保育室のほか、子育てや育児不安等の相談及び指導、子育て中の親子が気軽に利用できる「地域子育て支援センター」を併設しており、海南市の未来を担っていく子ども達が、より大きく成長するための拠点施設となるよう取り組みます。

在園児数（平成30年4月1日現在）

0歳児… 7人 1歳児…35人 2歳児…48人

3歳児…61人 4歳児…59人 5歳児…61人

（2）平成30年度当初予算額

263,728千円

【みらい子ども園外観写真】



骨髄等提供奨励金の創設 【県内初】

1. 制度の目的及び概要

骨髄や末梢血幹細胞の移植を希望する、白血病等の血液疾患の患者を一人でも多く救うため、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業にドナー登録し、骨髄等の提供を行った方に対し、奨励金を支給します。

2. 奨励金の内容

ドナーが骨髄等の提供を行う際の通院、入院又は面談の要した日数に応じ、1日当たり2万円を支給します。ただし、14万円を上限とします。

※ 他の奨励金又は助成金等の交付を受けている場合は対象外。

3. 平成30年度当初予算額

280千円

行政事業レビュー（事業仕分け）

1. 事業の概要

市の事業について、そもそも必要なのか、誰が行うべきか、無駄がないか等を、外部の視点を通して整理する行政事業レビューを実施します。

また、実施に当たり、無作為に抽出した市民に「市民判定人」として参画していただくことで、市民が行政を「自分事」として考える機会にできるよう取り組みます。

2. 事業の流れ

事業の説明 ⇒ 仕分け人による議論・質疑 ⇒ 市民判定人による判定

3. 平成30年度当初予算額

2,814千円

道路の整備

1. 阪井バイパス事業

国道 370 号の重根から木津区間において、慢性的な渋滞解消と安全な歩行空間を確保するため、バイパスによる道路整備を行います。

現在は、国道 370 号の竜部池の橋梁工事や道場山の山切工事を実施しており、全区間の早期供用に向け鋭意工事を進めています。

【延長：2.5 キロメートル】

2. 冷水拡幅・有田海南道路

①冷水拡幅

高速道路藤白インター付近から JR 冷水浦駅南までの国道を海側に拡幅し、片側 2 車線、上下 4 車線に拡幅します。

【延長：1.1 キロメートル 全体事業費：61 億円】

②有田海南道路

冷水浦駅南側から下津町地域を通り、有田川を渡った有田市野地区の 42 号までの区間でバイパス道路を新設します。

【延長：9.4 キロメートル 全体事業費 359 億円】

第 32 回全国健康福祉祭和歌山大会 (ねんりんピック紀の国わかやま 2019)

1. 事業の概要

国民の健康増進や社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成を目的として、昭和 63 年から各都道府県持ち回りで毎年開催されており、和歌山県では、21 市町で 27 種目のスポーツ・文化の交流大会が開催されます。

本市では、太極拳と囲碁の大会を開催することとなっています。

2. 本市での開催スケジュール

平成 30 年 5 月 ねんりんピック紀の国わかやま 2019 海南市実行委員会設立

平成 30 年 11 月 太極拳リハーサル大会を実施

平成 31 年 11 月 交流大会（太極拳・囲碁）、健康づくり教室等を実施

【冷水地区のみ】

冷水地区避難所整備事業

（１）事業概要

避難所として指定していた内海小学校冷水分校について、平成 29 年度に耐震診断を実施したところ耐震性がなく、耐震補強についても施設の老朽化等により難しいことが判明したため、避難所機能を維持することを目的に、国道沿いにある旧ローソン跡の土地と建物を購入し、避難所として整備します。

【事業期間】 平成 30 年度

【事業内容】 土地及び建物の購入、設計業務、避難所整備



【建物外観】

政策目標 1 快適な暮らしを支える

■道路整備事業…………… 9 億 9,982 万 7 千円

- ◆野上新 4 号線改良
- ◆阪井 13 号線整備
- ◆小野田 28 号線改良
- ◆下橋架替事業
- ◆道路等維持補修 など



■（仮称）中央防災公園整備事業 …………… 1 億 2,229 万円

わんぱく公園に隣接する大池の一部及び内池を埋め立て造成し、「防災」と「にぎわいづくり」の拠点となる都市公園として拡充整備します。

■岡田地区浸水対策事業…………… 8,700 万円

岡田地区において、排水路・貯水池の整備に加え、亀の川に排水するポンプ場を建設し、浸水被害の低減を図ります。

■海南駅東土地地区画整理事業 …………… 3 億 1,719 万 3 千円

J R 海南駅東地区において、都市計画道路、公園の新設、宅地整形など、一体的な整備を行い、安全で快適な住環境の基盤整備を図ります。

政策目標 2 まちの元気をつくりだす

■外国人観光客の受入環境を整備 …………… 202 万円

外国人観光客を誘致するため、黒江地区において多言語標記の観光案内標識を整備します。



■店舗リフォーム工事補助事業… 300 万円

市内事業所の集客力の強化や職場環境の向上を図るため、店舗リフォーム工事に係る費用の一部を補助します。

■日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」を P R …………… 306 万円

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」を P R し、本市への観光客の誘致を促進するため、物産観光センター・紀州漆器伝統産業会館に、情報発信コーナーを整備します。

■亀池公園の双青橋を整備…………… 250 万円

老朽化のため通行禁止としている双青橋を、亀池公園来場者が安全に利用できるように改修します。

政策目標 3 心豊かな人を育む

■小学校の英語活動を推進… 356 万 4 千円

小学校の外国語活動の時間に、外国人を含む外国語講師を派遣し、英語によるコミュニケーション能力の基礎を育成します。平成 30 年度より、従来の 5・6 年生に加えて 3・4 年生でも取り組みます。

■国指定史跡・熊野参詣道（紀伊路）保存整備事業 …………… 237 万 5 千円

国指定史跡の藤白坂・藤白王子跡・藤代塔下王子跡・一壺王子跡について、保存活用計画に基づき施設所有者が行う整備事業を支援します。



■遊具の補修…………… 980 万 1 千円

小学校と幼稚園の児童・園児が安心して学校生活を送れるよう、老朽化した遊具の補修等を行います。



■（仮称）市民交流施設建設事業 …………… 6 億 7,202 万 8 千円

旧庁舎跡地を有効に活用し、にぎわいの創出へとつなげるため、図書館機能や広場などを備えた市民交流施設を建設します。

政策目標 4 安心な暮らしを守る

■障害者基幹相談支援センター運営事業 …… 1,200 万円

障害のある人が身近なところでいつでも気軽に相談できる相談支援事業所の拠点として、障害者基幹相談支援センターを設置し、総合的な相談支援体制の整備充実を図ります。

■子ども医療費助成事業 …… 1 億 6,732 万 2 千円

子どもの健康の保持増進を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学生以下の子どもにかかる医療費負担の一部を助成します。



■学童保育事業…… 1 億 2,661 万 8 千円



共働き家庭やひとり親家庭の小学生の放課後の生活を守るため、市内全小学校区において、学童保育を実施します。今年度は、亀川学童保育室の拡充に向けた整備を行います。

■骨髓等の提供を奨励…… 28 万円

骨髓や末梢血幹細胞の移植を希望する、白血病などの血液疾患の患者を一人でも多く救うため、骨髓バンク事業にドナー登録し、骨髓などの提供を行った人に対し、奨励金を支給します。

政策目標 5 まちの安全を確保する

■防災行政無線デジタル化事業 …… 4 億 851 万 4 千円

現在のアナログ方式の防災行政無線同報系は使用期限が平成 34 年 11 月末までとなっていることから、デジタル方式による再整備を行います。



■感震ブレーカー設置促進事業… 50 万円

地震に伴う電気火災を防ぐため、高齢者や障害者がいる世帯などを対象に、感震ブレーカーの設置費用の一部を補助します。

■住宅耐震化事業…… 2,114 万 7 千円

木造住宅の無料耐震診断(非木造住宅は診断費用の一部補助)や、耐震化のための設計と工事費用の一部補助により住宅の耐震化を促進するほか、地震発生時に避難が困難な人が身を守れるよう、耐震ベッドなどの設置費用の一部を補助します。



■防犯カメラ設置事業…… 300 万円



児童が安心して学校生活を過ごせるよう、小学校に防犯カメラを設置します。

政策目標 6 持続可能な行財政運営

■行政事業レビュー（事業仕分け） …… 281 万 4 千円

市の事業について、そもそも必要なのか、誰が行うべきか、無駄がないかなどを外部の視点を通じて整理するとともに、市民の市政への参画機会を拡充します。

■証明書コンビニ交付事業…… 603 万円

個人番号カードを利用して、住民票の写しと印鑑登録証明書をコンビニエンスストアで取得できるサービスを行います。



メ モ